

News Release

日本をおいしくする
SHOWA
昭和産業株式会社

経営企画部広報課

〒101-8521 東京都千代田区内神田2丁目2番1号
(鎌倉河岸ビル)

TEL. 03(3257)2042 FAX. 03(3257)2097

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

平成26年5月13日

昭和産業株式会社 平成26年3月期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：岡田茂）の平成26年3月期連結決算は、売上高2,464億18百万円、経常利益96億38百万円となりました。平成27年3月期通期連結業績予想については、売上高2,500億円、経常利益97億円を見込んでおります。

【平成26年3月期連結決算】

当連結会計年度の我が国経済は、政府のデフレ脱却に向けた財政・金融政策への期待感から景況感に改善の兆しは見られたものの、消費税増税に伴う消費低迷への懸念や海外景気の下振れリスクなど、景気は先行き不透明な厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、原料穀物相場はやや落ち着きを見せましたが、円安の影響もあり製造コストは高止まりし、さらに消費者の節約志向や低価格志向が継続するという厳しい環境にありました。また、食の安心・安全に対する消費者の関心はさらに高まり、取り組み強化が求められております。

このような状況の中、当社グループは、2012年（平成24年）よりスタートした「中期経営計画12-16」の6つの基本戦略「①基盤事業の持続的成長」「②新たな分野への挑戦」「③海外事業の強化」「④効率化の推進」「⑤グループ連携の強化」「⑥CSR経営の推進」の下、具体的な施策の推進を進めてまいりました。

これらの結果、連結売上高は2,464億18百万円と前年同期に比べ182億68百万円（8.0%）の増収となりました。連結営業利益は85億50百万円と前年同期に比べ5億34百万円（6.7%）の増益、連結経常利益は96億38百万円と前年同期に比べ9億30百万円（10.7%）の増益、連結当期純利益は64億58百万円と前年同期に比べ17億78百万円（38.0%）の増益となりました。

【平成27年3月期連結業績予想】

穀物の一次加工を主な事業とする当社グループは、小麦、大豆、菜種、とうもろこしなどの穀物原料相場の変動や、為替の急激な変動の影響を大きく受けます。穀物原料相場は今後も高い水準で推移し、為替も円安傾向が定着するとの見通しにより高コスト状態が継続するものと考えられます。また、国内経済情勢につきましては、政府及び日銀の金融政策、財政政策等により緩やかな回復が続くとみられますが、消費税増税による景気減速懸念等により当社グループを取り巻く経済環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況において、当社グループは、平成24年4月より5ヶ年計画「中期経営計画12-16」を開始し、当社グループの持つ多様な事業の将来ビジョンを描き、成長戦略を遂行することで厳しい経済環境に対処してまいります。

平成27年3月期の業績は、連結売上高2,500億円、連結営業利益90億円、連結経常利益97億円、連結当期利益65億円を見込んでおります。

以上

この件に関するお問合せ

昭和産業株式会社 経営企画部長 ^{いのひろし}（猪野 浩）まで

TEL：03-3257-2042

FAX：03-3257-2097